「乳腺甲状腺超音波医学」投稿規定

2019年10月4日制定
2022年7月5日改訂

これは一般社団法人日本乳腺甲状腺超音波医学会(JABTS)の機関誌の投稿規定である.

1. 投稿論文

乳腺甲状腺超音波医学に関する基礎的・臨床的研究で,会員に益すると認められるもの.論文は,本学会ホームページと機関誌とに掲載される.

2. 誓約書

論文投稿時には著作権譲渡,および二重投稿でないことを確認するため,誓約書に著者・共著者全員の承諾・署名・利益相反の有無についての自己申告が必要である.誓約書は,本会ホームページ(http://www.jabts.or.jp)からダウンロードして使用し,論文投稿時に編集委員会宛てに郵送する.

3. 倫理規定

臨床例(もしくは臨床材料)または動物を対象とした実験的研究においては,各施設の倫理委員会または動物実験に関する委員会に承認されていること,および臨床研究においては,必要に応じて被験者からインフォームド・コンセントを得ている旨を原稿内に記載すること.また,個人情報保護のため,論文内に個人を特定できる記載がないこと.筆頭著者は本会会員に限る.

4. 利益相反

論文投稿時に,誓約書にて利益相反の有無を申告すること.利益相反状態がある場合は,専用の申告用紙(投稿論文用)に必要事項を記載し,提出すること.

5. 投稿原稿

投稿は,本文,文献,図表の説明を併せて,「原著」,「症例報告」,「技術報告」,「短報」別に下記のとおりにまとめること.

「原著」,「症例報告」:6,000字以内,図表1点400字換算で6枚までとする.

「技術報告」,「短報」:4,000字以内,図表1点400字換算で6枚までとする.

6. 原稿の書き方

●用紙は,A4版とし,1ページの行数(40行),1行の文字数(40字)とする.

●文章は「である」調とし,平易な表現とする.句読点としては,ピリオド(.)とカンマ(,)を使用する.

●語句は英語で表現するほうが通例である場合以外は,できるだけ日本語を用い,やむえない場合はカタカナ書きを用いる.

●必ずページ数を記載すること.

1ページ目の記載事項

論文の種類(原著,症例報告,技術報告,短報の別を明示する),タイトル,著者名,所属,住所,電話番号,FAX 番号,e-mail address を記載すること.タイトル,著者名,所属,住所は,和文・英文の両方を記載する.

2ページ目以降

抄録,Key Words,本文,文献,図(写真)およびその説明,表およびその説明,の順番で原稿を構成すること.

[抄録]

・和文抄録および英文抄録は,目的,対象と方法,結果と考察,結論の順に記載.

・和文抄録(600字以内)および英文抄録(300words 以内)を記載.

[Key Words]

・英語5個以内(固有名詞以外は小文字のみ)で記載.

[本文]

・原著論文の場合

「はじめに」,「対象と方法」,「結果」,「考察」,

Presented by Medical*Online

「結語」の順に記載すること.

・症例報告の場合

「はじめに」,「症例報告」,「考察」の順に記載すること.

［文献］

・本文中の引用箇所の右肩に上付きで引用順に番号を振って記載すること.

・書式は下記のように，著者名を3人までとし，それ以上は和文では「他」，英文では「et al」とする.

・雑誌名については，和文雑誌は公式の略称，欧文雑誌は Index Medicusにしたがって略したものを記載する.

①雑誌からの引用例

〈和文誌〉

古川政樹，古川まどか：頭頸部の超音波診断. 超音波医学2006；33(3)：315-22

〈英文誌〉

Takei J, Tsunoda-Shimizu H, Kikuchi M, et al: Clinical implications of architectural distortion visualized by breast ultrasonography. Breast Cancer 2009; 16(2): 132-135

〈抄録号〉

梅本剛，佐藤香奈，大川浩一，他：超音波所見からみた組織弾性――境界部高エコー像(halo)の硬さ．第27回日本乳腺甲状腺超音波診断会議抄録集 2011；27：75

②単行本からの引用例

日本乳腺甲状腺超音波医学会編：乳房超音波診断ガイドライン(改訂第4版)．東京，南江堂，2022；pp 1-8.

③ウェブサイトからの引用例(著作権者名：URL，アクセス日時)

日本乳癌検診学会：http://www.jabcs.jp/pages/top.html　2019/3/31 13:00

［図］

・図は，矢印を用いるなどしてわかりやすくすること.

・図の説明文は，本文最終ページに「図の説明ページ」を設け，記載すること．原則として，細胞・組織等の写真を除き，モノクロとする.

［表］

・表中(Table)の言語は，日本語を用いること.

・単位は全て英語を用いること.

7. 略語について

略語の使用は一般的なものに限り，かつ最小限度にとどめること.

8. 原稿の内容

投稿原稿は全て複数の査読者が評価を行い，編集委員会が採否を決定する．投稿規定に準拠しない原稿は査読を受けることなく投稿者に返却されることがある.

9. 掲載料

投稿料，掲載料，および編集委員会が必要と認めた図のカラー印刷は無料とする.

別刷が必要な場合は，実費負担とする.

10. 原稿のデータ提出

以下の3項目をデジタルデータとし，メールに添付して下記のアドレスに提出すること．大容量となり送付できない場合は，記録したメディアを下記まで郵送すること.

1)誓約書

スキャンしPDFファイルにした形式での提出を推奨する．それ以外であればFaxにて提出する.

2)原稿

原稿はMS-Wordファイルで作成し，1ファイルにまとめて提出する.

3)図・表

おのおの1ファイルにまとめて提出する(Fig一式，Table一式).

提出・問い合わせ先

日本乳腺甲状腺超音波医学会　編集委員会
〒 329-0498　栃木県下野市薬師寺 3311-1
自治医科大学臨床検査医学
TEL：0285-58-7385
FAX：0285-44-9947
e-mail：jabts-office@jichi.ac.jp

Presented by Medical*Online

誓　約　書

論文名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

筆頭著者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　所属：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

筆頭者および共著者全員は，上記論文の投稿に当たり，以下のことを誓約する．

1. この論文は，「乳腺甲状腺超音波医学」投稿規定に沿って作成されたものである．
2. 翻訳権を含めた著作権を一般社団法人日本乳腺甲状腺超音波医学会へ譲渡する．
3. 二重投稿の違反が認められた場合は，編集委員会の指示にしたがう．

	楷書又は印刷で氏名を記入　署　名	利益相反状態	会員番号（会員は記入）	日　付
1	：	： 有・無	：	
2	：	： 有・無	：	
3	：	： 有・無	：	
4	：	： 有・無	：	
5	：	： 有・無	：	
6	：	： 有・無	：	
7	：	： 有・無	：	
8	：	： 有・無	：	
9	：	： 有・無	：	
10	：	： 有・無	：	

利益相反の申告：（筆頭者・共著者，全員が対象となります．）

※「利益相反状態に有る」を選択された方は，別の**［利益相反状態自己申告用紙（投稿論文用）］**に必要事項を記入の上，本誓約書と併せてご提出下さい．

Presented by Medical*Online